

病院整備計画の公募審査に関する質問票

- 黄色着色セルに入力してください。
※「担当者名」「メールアドレス」「回答」行に入力してください。
- 今回頂いた回答は委員に提供し、後日会議HPに掲載します。
※担当者名とメールアドレスは非公表です。

保健医療圏	東部
応募医療機関名	新越谷病院
担当者名	
メールアドレス	

	委員名	応募医療機関名	質問	回答
1	西村委員	新越谷病院	移転予定地はいつれか？	越谷市蒲生4丁目1213番地他 (9893.34㎡、東武スカイツリーライン蒲生駅より徒歩15分)
2	内藤委員	新越谷病院	この度の埼玉県東部地域の公募は819床のところ応募は977床となっており、すでに158床の過多になっています。今回越谷地域だけで新規・移転・増床等含めて60%を超える計623床の届け出がありました。すべて獨協埼玉医療センターを中心に東西南北配置されていますが、仮に希望通り増床できたら、それに伴う看護師等職員の確保はかなり厳しいものになります。当然近隣の医療機関の影響は計り知れません。患者の取り合いになるかもしれません。多くの新規・増床計画がだされたことで、医療従事者の採用計画、患者数、病棟数などについて、再検討されるのでしょうか。	医師、看護師の採用計画につきましては、現状以下の通りでございます。 ・医師：2022年度上半期紹介会社からの紹介及び直接応募人数17名、内定件数2名 ・看護師：2021年度、2022年度新卒採用人数各25名（関連看護学校2校あり） 医師、看護師等職員、その他の職員の採用につきましては、新越谷病院としての採用活動に加え、IMSグループ組織として全国的な採用活動をしております。今後も同様に計画的な採用を実行いたします。 患者様獲得につきましては、現状ベッド稼働率99%と稼働率が高く、入院のお断りをするケースが病院全体で年間625件あり、出来る限りお断りをする事無くスムーズに入院して頂く為には、増床が必要と考えております。 なお、新規・増床計画が出されている時点では、採用等の計画変更は考えておりませんが、今後申請病床の配分数に応じ、採用等の計画変更は必要と考えております。
3	宗廣委員	新越谷病院	当院の退院支援看護師に聞くと、回復期リハビリ病院への転院はスムーズにいくとのことですが、今回のプレゼンテーションで、回復期リハの申請が複数の施設から上がっているのを聞いて、自施設での申請数はそのままの数が必要だと考えていますか。	回復期病棟へご紹介頂きました患者様のうち、年間313名の患者様をお断りせざるを得ない状況でございました。これらの件数を考慮いたしまして、今回の申請病床数を算出させて頂いております。
4	平井委員	新越谷病院	増床計画では128床ですが 5-②(2)①-1では225床ですが	資料中に現在の障害者病棟(一般病床)91床が抜けており、大変申し訳ございません。資料の訂正をさせていただきます。
5	原直委員	新越谷病院	地域包括ケア病床45について：地域包括ケア病床を持つということはサブアキュート(誤嚥性肺炎や骨折等)も診るという理解でありますが、二次救急や夜間および休日の救急を受けていただけという理解でよろしいか。救急に対する計画を教えてください	救急告示病院の申請をする予定でおります。当面は二次救急対応の患者の受け入れに関しては、難しいと思われれます。在宅療養中の患者様や夜間休日の一次救急受け入れを行う体制整備を進め、内科的処置が必要な患者様を主な対応として、救急医療に取り組んで行きたいと考えております。
6	原直委員	新越谷病院	回復期リハビリ病床70について：県の定量分析ベースでは東部地域の必要数は1579床ではなく75床となっている。また、現在、対人口10万人当たり81.5床と突出した病床を持っている地域であるにもかかわらず、当該病床を大きく増床申請する理由を教えてください	上記3でもお示しいたしましたが、回復期病床の増床数につきましては、平均病床稼働率98%、年間313名の患者様を満床やベッドコントロールできずお断りせざるを得ない状況であり、こちらの数値を基に病床数を算出させて頂きました。
7	原直委員	新越谷病院	回復期リハビリ病床70について：人材の件。大きく増床するということは理学療法士を多く迎える必要が出ます。現時点でもこのエリアでは多くの理学療法士が活躍中であり、人材雇用のことも含め、地域医療のバランスを崩す可能性を危惧しますが既存医療機関からの人材流出の無いような採用計画となっておりますのでしょうか。	現在中途採用はほぼ行っており、北海道から九州、沖縄までの全国規模での新卒採用のみに限って採用活動を行っております。その中で、理学療法士の採用は比較的順調にて、毎年募集人員を上回る応募がございます。グループ病院間での転勤などを含めました必要人員確保の計画をしております。
8	原直委員	新越谷病院	医療従事者の採用計画について：地域に迷惑をかけるなどの計画をうたわれているが、それを目指しながらうまく行くのでしょうか。これまでも越谷市内でも人材不足が続いています。その状況下において、既存医療機関の人材不安を脅かすことなく128床増床分の職員確保は困難を極めませんか。既存医療機関からの看護師・職員の応募に関しては採用を見合わせるという考えで理解してよろしいか。	看護師の採用につきましては、近年奨学金貸与生を含めまして、順調に新卒者の採用が出来ております。他の職種につきましても、IMSグループ組織全体での採用活動に加え、グループ病院間での転勤などを含めまして必要人員の確保を進め、既存の医療機関にはご迷惑をおかけすることの無いよう配慮した採用活動を行う計画であります。
9	原繁委員	新越谷病院	10人の医師の確保は可能ですか	2022年度上半期で17件の紹介会社からの紹介及び自己応募があり、内2名の採用に繋がっております。引き続き採用活動を実施しつつ、グループ内病院間での転勤も計画しております。
10	岡村委員	新越谷病院	心臓リハ、呼吸器リハの新設に対して人材、設備の面で障害となる点はありませんか。	呼吸器リハにつきましては特に問題ございません。心臓リハにつきましては、必要機器や機材の購入を行う予定でございます。また、設計段階で設備面に問題が生じないよう、また高度且つ良質なリハビリを提供させて頂く環境となりますよう計画する予定でございます。資格要件を満たす人材確保が必要となりますが、採用活動等により十分対応可能と判断しております。つきましては、現時点にて障害となる事象は特になくと判断します。

地理院地図

GSI Maps

